

# 新年特別講演会のご案内

近年における情報通信の技術発展は著しいものがあり、我々の仕事環境や日常生活は瞬時で世界とつながるなど大きく変化してきました。船舶運航の世界は広大な海洋上をフィールドとしているため、長らく陸上から独立したシステムとして制限された通信の中で輸送活動を余儀なくされてきました。情報通信の技術発展に伴い、海洋上における長距離通信も通信速度や通信容量の改善が図られ、以前では困難であった陸上との通信が可能となる局面も増えつつあります。船舶を管理する船会社においても、時々刻々の運航状況を把握するモニタリング技術が発展し、荒天を含めた様々な気象条件および海域における実海域性能の分析、省エネ技術、など関連研究の進展にも大きく寄与しています。国際海事機関(IMO)による地球温暖化ガスの排出量を国際海運から削減するためのEEDIの評価を含めたウェザールーティングによる安全性、効率性、環境保全など、船陸間通信技術を活用した技術は今後さらに必要となってきます。本講演会では、近年の海上における長距離通信技術に関わる技術開発の状況ならびに関連する技術事例等をご紹介します。多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

## 記

日 時： 特別講演会 令和3年1月22日(金) 16:00~17:00

場 所： 本講演はオンライン形式により実施いたします

※会場 URL リンクは後日、申込者にメールにてご案内いたします。

参加費： 無料、要事前申込

講演題目： 海上ブロードバンド通信に関する技術開発の状況について

講 師： なかがわ ひろやす 中川 裕康 氏

古野電気株式会社 船用機器事業部 営業企画部 規格検定課 課長

国際海運からの地球温暖化ガスの排出量を削減する為のEEDI、EEOIの施行に伴い、海洋環境の保全とそのために必要な省エネを実現し、実海域性能の把握やウェザールーティングの高度化に必要なモニタリング技術が注目されています。これらを支える技術として海上での長距離通信が情報通信の技術発展を背景に、近年、著しく進展しています。本講演では情報通信の技術に加え、航海計器や魚群探知機など数多くの船用機器を製品開発してきた技術を組み合わせ、海洋上での長距離通信に関する要素技術等についてご紹介します。

申込締切： 令和3年1月12日(火)

申込み先： 日本船舶海洋工学会関西支部事務局

問合せ先 TEL：06-6879-7593 FAX：06-6879-7594 携帯電話：070-1305-2902

E-mail：[k.office@jasnaoe.or.jp](mailto:k.office@jasnaoe.or.jp)

以上